

県指導農業士に三瓶清志さん

2月10日、郡山市で平成20年度福島県農業士認定証交付式が開かれ、三瓶清志さん（大倉）が指導農業士として認定されました。



認定された三瓶さんは、水稲においては借地、受託作業を積極的にこなない、トマト栽培では夏秋トマトの規模拡大を進め、南郷トマト生産組合只見支部長として活躍、また環境保全型農業の取り組みをしています。

指導農業士は、農業技術、経営管理能力等に優れ、自ら営む農業経営の内容が地域の水準以上である等の認定要件を満たした方が、福島県より認定されます。青年農業者の育成指導、農業後継者の育成確保に活躍が期待されます。

運動器検診の結果報告会

平成20年度只見町運動器検診の結果報告会 2月27日、季の郷湯ら里で開かれ約170人が参加しました。

報告会では、調査の目的について京都大学の福原俊一先生が説明し、福島医大の大谷晃司先生、京都大学の竹上未紗先生、小野玲先生が今年度の調査結果を報告しました。

町は、今年度から平成24年度までの5ヵ年でおこなわれる福島県立医科大学整形外科、京都大学医学研究科医療疫学、健康医療評価研究機構による共同研究「福島運動器疫学調査」の対象地に選ばれています。この調査は町総合健診時におこなわれます。調査結果は町の健康づくり等に生かされます。町民の皆さんの協力をお願いします。



伏見さんが家族経営協定締結



締結式に出席した関係者(前列左から正寛さん、知恵さん)

2月27日、町役場で家族経営協定締結式がおこなわれ、伏見正寛さん、知恵さん夫婦（梁取）が、目黒吉久町長、小沼一弘J A只見支店長、小山喜男南会津農林事務所農業振興普及部長の立会で協定を締結しました。

協定は、家族がお互いに経営に参加して、夢のある経営と明るい家庭をつくる事を目的としています。

■認定農業者に認定

またこの日は、只見町農業経

営改善計画認定審査会も開かれ、新たに認定農業者として、伏見さん夫婦、馬場新介さん（蒲生）、山内征久さん（梁取）が認定されました。これで、認定農業者による只見町認定農業者経営改善研究会の会員数は46となりました。地区別の会員数は只見10、朝日12、明和24となっています。

認定農業者は、担い手農業者とも呼ばれ、国や県等の長期資金や税制の優遇措置による支援を受けることができます。

伊藤先生（明小）が優秀教職員表彰を受賞

明和小学校の伊藤清美教諭は、県教育委員会平成20年度優秀教職員表彰を受けました。

伊藤先生は、各校で研修主任として研修を推進、特に国語科の研究で優れた成果を挙げました。作文のスキルを学年系統表にまとめ実践化。児童の論理的文章力、基礎学力の向上に結びつけた研究で短作文指導の有用性を実証し、県国語教育の発展に貢献したことが認められました。